

特定小電力ハンディトランシーバー  
(総務省技術基準適合品)

# DJ-P222

## 取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。  
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。



アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。



## アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル 010-20-460-007

受付時間：10:00～17:00 月曜～金曜(祝日及び 12:00～13:00 は除きます)  
ホームページ <http://www.alinco.co.jp/電子事業> をご覧ください。

PS0854A  
FNEI-NI

## 使用前のご注意

### ■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

### ■分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更是法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

### ■ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。  
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など)

日本国内でのみ使用してください。

This product is permitted for use in Japan only.

### ■通信距離

通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。  
・海上、山頂など条件のよい所 : 2km またはそれ以上  
・河原など障害物のない平地 : 500m～1km 程度  
・見通しのよい道、郊外の住宅地 : 500m 程度  
・市街地のような障害物の多い所 : 200m 程度

### ■障害物

本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

ローパワー時は、半分以下になります。

## 特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

### 3 分制限（3 分以上は連続で送信できません）

10 秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計 3 分になると自動的に送信は停止します。中継通信の場合も連続した中継動作が 3 分を超えるとタイムアウトします。

3 分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約 2 秒たないと次の送信はできません。

### キャリアセンス（受信中に送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは [PTT] キーを押しても送信できません。受信中に [PTT] キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できることをお知らせします。

ビープを OFF にしているとき、アラーム音は鳴りません。

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
△	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
○	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### ■警告

#### ■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。  
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われる場合があります。製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何かのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

### ■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。イヤホンに目で装着する際、静電気が放電することがありますのでご注意ください。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。サイズ違いのアンテナに交換することはできません。

布や布団で覆つたりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けた風通しの良い状態でご使用ください。

### ■充電器の取り扱いについて

充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

### ■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン／マイクロホン端子にはオプションのイヤホン／マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。運転者が使用するときは車を安全な場所に止めからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作の原因となります。

病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。

無線機を使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

製造番号ラベルをはがさないでください。

製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

### ■充電器の取り扱いについて

充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

必ず AC アダプターを持って抜いてください。

### ■保守・点検

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

製造番号ラベルをはがさないでください。

製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

### ■充電池および充電器（オプション）

充電池、充電器および関連するアクセサリーは下記のとおりです。

●ニッケル水素充電池 : EBP-179 (1.2V 1900mAh)

●連続充電スタンド : EDC-179R

●連続用 AC アダプター : EDC-162

●シングル充電器セット : EDC-181A

充電池は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。

充電器 (EDC-179A/179R/181A) を使用して、空のニッケル水素充電池 (EBP-179) を満充電するのに要する時間は約 6 時間です。

市販の単三形充電池は EBP-179 と形状が違うため使用になれません。  
弊社の充電器は、対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。

## 注 意

### ■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電波を使用している関係上、無線機器の通話は第三者による傍聴を完全に阻止することはできません。そのため、機密を守るために重要な通話を途切れさせる場合があります。これはグルーフトーキング機能を使われるとトーン信号の精度が機種によってばらつくことによる相性のためであり故障ではありません。

### ■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン／マイクロホン端子にはオプションのイヤホン／マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

### ■充電器の取り扱いについて

充電器の AC アダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

製造番号ラベルをはがさないでください。製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

## 付属品と取り付け方

### 付属品をご確認ください

□ベルトクリップ（ネジ1本）

□ハンドストラップ

□取扱説明書（本書）

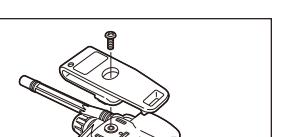
□保証書

**注意** 保証書に購入の日付が記載されていないときは、領書・レシートを保証書といっしょに保管してください。  
ご購入が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

## ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップをネジで本機の背面に取り付けます。

**注意** 定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペア部品として販売しているので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。  
ネジ付きベルトクリップ : EBC-29



## ハンドストラップの取り付け

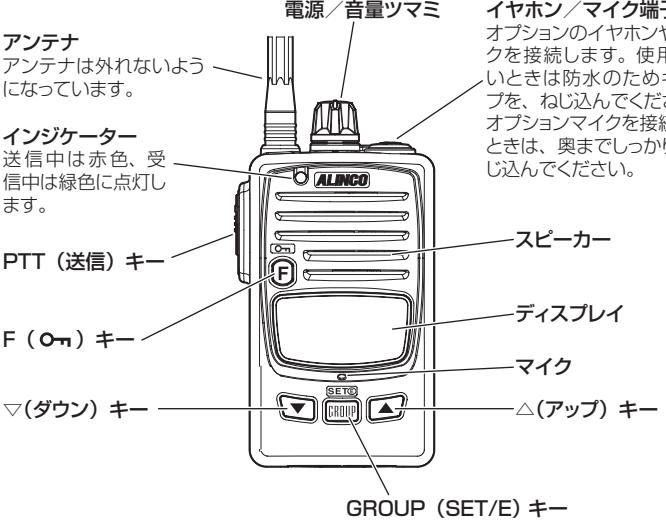
本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。



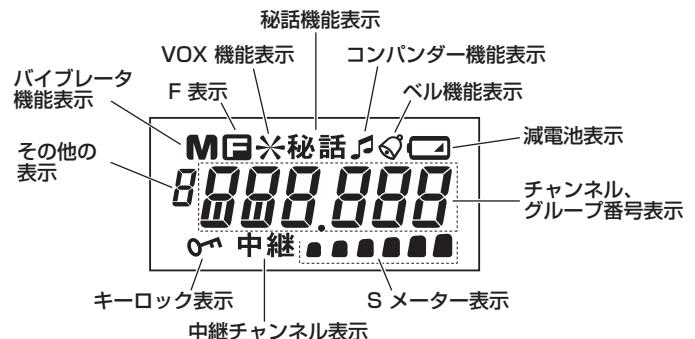
## 電池の入れ方

## 各部の名前とはたらき

### 前面部



### ディスプレイ



### チャンネル表示について

#### ● 互通話時

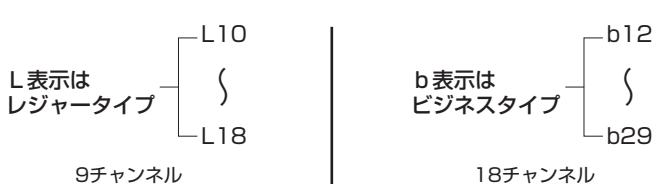
レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。



L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ（9チャンネル機）と通信できます。

#### ● 中継通信時

レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。



## セットモード

各種機能を用途や好みに合わせてカスタマイズすることができます。

### セットモードにする

- ① [F]キーを押しながら [SET] キーを押します。  
→セットモードに入り項目が表示されます。
- ② [SET] キーを押すごとに項目が切り替わります。  
[F]キーを押すと前項目に戻ります。
- ③ △キーを押して設定値を変更します。
- ④ [PTT] キーを押して設定を完了します。

**メモ** セットモードについての詳しい内容や、本書に記載していない上級セットモードについては弊社ホームページをご覧ください。  
[http://www.alinco.co.jp/「電子事業」](http://www.alinco.co.jp/)

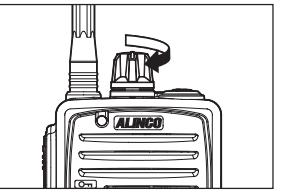
## 基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

### 互通話

#### 電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回します。



### 音量を調整する

電源/音量ツマミを時計方向に回します。

ツマミに表示された数字（1～8）が大きいほど音量が大きくなります。  
▽キーと△キーを同時に押すと「ザ」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。

### チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。

通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。

キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。



### 受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。  
インジケーターが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

**メモ** 本機にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信終了時の「ザ」というノイズが低減されています。（テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効）

### 送信する

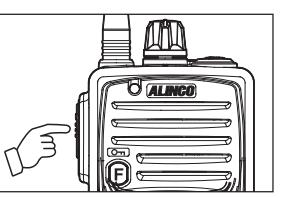
信号を受信していないことを確認してから [PTT] キーを押します。

→インジケーターが赤色に点灯します。

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。

マイクと口元は約5cm離してください。

一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「ブブ」が鳴り送信できません。  
[PTT] キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。



### 中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。  
別途、弊社製の中継器が必要です。

### チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して中継通話用チャンネルのL10～18、b12～29を選択します。

→「中継」が点灯します。



### 送信する

[PTT] キーを押し続けます。

→直後に「ビビ」という音が鳴ります。

[PTT] キーを押しながらマイ克に向かって話します。

**メモ** お使いになる中継器の設定をご確認ください。  
中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機にもグループトーク機能を設定してください。

**注意** 中継用チャンネルでは、子機どうしの直接通話はできません。  
それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。  
子機一中継器間、子機一機間は10m以上離してください。